

## 里山の名峰“宝篋山”山行報告

【山行日】 2015年2月28(土) 晴れ  
【集 合】 古河市中央運動公園P AM8:00  
【費 用】 マイカー2台 : 700円  
【メンバー】 CL:大西、石田、香川、梶内、島田、  
田村、津佐、福田忠、増田、松館、藤原  
【コースタイム】古河中央運動公園P8:00＝  
宝篋登山口 9:15/9:35→尖浅間山頂 10:45→  
宝篋山山頂 11:35/11:45→下浅間神前広場昼食  
12:05/12:40→要害展望所 13:40→  
宝篋山登山口 13:45＝地元農産物直売所＝古河中央運動公園P15:30 解散



快晴で穏やかな、期待通りの山日和となった。  
今回は14名の大所帯になる予定でしたが、体調不良者が出て11名の山行となった。



古河中央運動公園に3方向から集まり2台の車に分乗して登山口へ向かった。スムーズについた登山口、何〜んと！登山者の車で一杯になっていた。こんなにたくさんの車があるとは思わなく、朝のトイレも列ができていた。身支度を整えストレッチをして、今日予定の常願寺コースを案内板で確認を取りながら歩き出した。暖かいと言ってもまだ“可愛いせり”にはお目にかかれず、オドリコソウやホトケノザのピンク色の花

が道端に咲いているのに春を感じる事ができた。

“ギョギョ！”今日の一番元気な人は田村さん！月例山行の参加は1ヶ月振りなのに！先頭を歩く田村さん、心なしか足取りが軽く後ろの方から『早いよ〜』と声が聞こえてくる。

衣服調整後、ペースダウンをしてゆっくり歩きに切り替えた。コースは水が綺麗に澄んだ沢沿いの歩きに変わり、数回沢を渡る。大きな天狗岩が見えてきた。下ってきた人から『かろうじて富士山が確認できました』と情報を貰った。純平歩道分岐の場所で一息入れ、今日一番の急登を登りだした。前回の記憶が蘇り、慌てずゆっくり歩くと山頂が見えてきた。

ボランティアの方々が、尖浅間山頂に手作りのテーブルや肘掛椅子を置いてくれ寛げる山頂だった。いつも頂くリンゴを、今日も福田さんのザックから出してくれ、皆さんの口の中へと運ばれた。リンゴは急登で乾いた喉を潤し、心地よく通って行った。“ご馳走様”

山頂からは暫く下り、霜解けで粘っこい土は滑りやすく“ぐちゃぐちゃ”に手を焼く！間違い足を焼く？うまく下ると、野鳥の森の静かな道をゆっくり登るようになる。静かではなかったかな？

極楽寺コースと合流点に着き、宝篋山はもう少しと確認。健脚組は、宝篋城址を確認するため廻り道。山頂手前のトイレに着き、トイレを済ませ山頂に向かう。ここからは数分頑張ると山頂に着く。山頂には名前の由来となった、大きな宝篋印塔と三等三角点が置かれ、ベンチも整備されている。





北側には遮るものがなく、筑波山が大きく聳えており、東には霞ヶ浦が白く輝いている。  
ベンチを借りてコーヒータイム。熱々のコーヒーにロールパンが添えられて皆さんで美味しく頂く。  
2月の陽気とは思えない暖かさで、大勢の人たちが山頂からの眺めを楽しんでいた。  
私達は下浅間まで下り、お昼を頂いた。今日はいつもの美味しいお稲荷さんが配られた。“頂きます”味噌汁や漬物、一口チーズ等が配られて皆さん美味しく頂きました。“ご馳走様”

風がなく暖かい場所で食事を済ませ、小田城コースを一気に下った。

途中、要害展望所でおやつタイムをとり、古河の銘菓「白玉」と高級ビスケットを頂く。

いつも山はお腹がいっぱいになって幸せです。「山で体重は気にしない」と言い訳しつつ戴いた。

最後の下りを終えて宝篋山登山口に着く。“お疲れ様でした”

小さな山だが、豊かな自然林が保たれ、多彩な花々で彩られ訪れるものを飽きさせない。  
のんびり山行で春の訪れを感じられ、大満足の日だった。

大西記